

雪まるかじりツアー ～本格かまくら作りコース～

1月4日（金） ～ 1月6日（日）

IN 兵庫県立宍野高原教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	かまくらの土台を作ろう	作戦会議、キャンドル作り
2日目	かまくら作り	かまくら作り	かまくらナイト
3日目	片付け、そり遊び	施設を出発・解散	

一日目： 一月とは思えない暖かい日差しの中、お見送りに来てくださったご家族の方に手を振り出発しました。最初は緊張しておりましたが、車内は次第に賑やかになり、窓の外に雪を見つける度に喜びの声が上がりました。施設到着後、お弁当を食べ、雪遊びへと向かいました。出発前は「かまくらが作れるくらいの雪があるかな～？」と心配していましたが、かまくら作りの場所は、辺り一面真っ白で想像以上にたくさんの雪がありました。ルールや活動範囲の確認が終わると、「よ～いドン！」の合図で駆け出し、フカフカの雪にダイブしておられました。転んでも、雪玉が当たっても、とにかく笑顔が弾けていました。自由創作やグループ対抗ゲームを楽しみ、一日目の雪遊びを終えました。その後は夕食を済ませ、明日に向けて『グループオリジナルの設計図』と『キャンドル』を作りました。話し合いでは「早く作りたい！」と前のめりのメンバーが多く、明日のかまくら作りに気合い充分でした。



二日目： ついにかまくら作り当日を迎えました。朝から準備を整え、道具を揃えて出発しました。午前中は雪をソリで運んで積み上げ、大きな雪山を作りました。きれいなお椀型になるようにへこんでいる場所に雪をのせ、手足で固める作業を繰り返し、形を整えました。時折、太陽が顔を出し、額に汗が滲む場面もありましたが、少しずつ大きくなる雪山に嬉しそうな表情を見せ、時間が経つにつれ役割分担もスムーズになりました。昼食後は各部屋で休憩し、パワーを蓄えてから再出発しました。午後からはかまくらの入口を決め、スコップで雪をくり抜きました。穴が広がると交代で中に入り、内壁の雪をスコップで削っておられました。雪だるまや猫耳など、かまくらの周りの飾り付けも進み、グループのオリジナリティが溢れていました。疲れが見え始めましたが、最後の力を振り絞り全グループ立派なかまくらが完成しました。夕食後は雪合戦のメンバーを招待し、お餅やマシュマロを焼いて七輪パーティを楽しみました。一日中、頑張り続けたみんなは布団に入るとすぐに夢の中でした。

三日目： 眠い目をこすりながら洗面、着替えを済ませ、布団の片付けと部屋の清掃に取り掛かりました。朝食後も残りの清掃を行い、全ての清掃が完了後、最後の雪遊びへ出発しました。このキャンプでは初めて雪が降る中での活動でしたが、そんな事はお構いなしという様子で、雪遊びを満喫しておられました。かまくらとの写真撮影会を楽しみ、惜しみながらもかまくらを解体しました。雪合戦メンバーも手伝ってくれた為、あっという間に終わりました。そして最後は、一日目から楽しみにしていた『ソリ滑り』をしました。最初は上手くできなかったメンバーも次第にコツを掴み、下まで滑り降りていました。途中で転んでも笑顔が溢れ、「もう一回！」と言いながら挑戦しておられました。その後、荷物整理を済ませ、食堂で美味しいカレーを食べ、施設を後にしました。三日間雪遊びを満喫し、たくさんの思い出ができました。

<キャンプ総括>

かまくら作りは想像以上にパワーが必要なプログラムです。今年は例年以上に低学年メンバーが多く、時間内に完成できるかという心配もありました。雪を集め、積み上げ、踏み固める。同じ作業を繰り返す事に疲れてしまう姿も見られました。しかし、そんな時に「誰か交代してー！」と声を上げると、「いいよ！」とすぐに誰かが名乗り出ておられました。「もう交代するの？」や「そろそろ交代しなくて大丈夫？」と様々な言葉が飛び交い、終始賑やかでした。また、途中からは多く雪を集める遊びや、歌いながら踏み固めるなど、同じ作業の中にも違う楽しさを見つけ取り組んでおられました。これからも「手伝ってほしい」と声を上げられる仲間づくりを大事にしていきたいです。（生本 ひろみ）